

教科	国語	科目	国語表現	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	国語表現 改訂版			出版社名	大修館書店	
	副教材	プライム常用国語(第一学習社)					

学習の目標	1 国語を的確に理解し適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めます。 2 表現活動を通して自分の考えを深め、目的に応じた適切な表現ができる言語感覚を磨きます。 3 言語に関する知識を学び、言語文化への関心を深めます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1部 表現力を培う 1 書いて伝える	○原稿用紙の使い方、文章表現のきまりについて理解します。	中間 期末 考查
	5月	2 小論文・レポート入門	○主題文を作成し、意見を明確にした上で書き始められるようにします。	
	6月	3 自己PRと面接	○小論文の構成について理解し、論理的文章力を高めます。	
	7月		○面接の注意事項について正しく理解し、模擬面接を通じてその技能を身に付けます。	
2 学期	8月	4 メディアを駆使する	○ネットやメディアとどう関わり、利用するのか理解します。	中間 期末 考查
	9月	5 声とコミュニケーション	○音声言語を用いた表現の楽しさと難しさについて理解し、その方法を学びます。	
	10月	6 会話・議論・発表	○効果的なコミュニケーション技能を身に付けます。	
	11月		○いろいろな議論の方法を学び、実際に行う際、表現に求められるものを理解します。	
12月		○プレゼンテーションの実践を通じて、情報の受け手に対して意識すべき事やその方法について理解します。	期末 考查	
3 学期	1月	第2部 表現を楽しむ 1 言葉で遊ぶ 8 エッセイを書こう	○回文やしりとりなど、昔からあった言葉遊びを通じて、その面白さや言葉の可能性について感じます。	学年 末 考查
	2月		○日常を書く行為によって切り取り、保存する行為の楽しさを感じます。	
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。		言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、小テスト・課題やノートなどの提出物・授業態度などを考慮して総合的に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業には真剣に取り組み、与えられた課題に意欲をもって取り組みましょう。 2 提出物は期限を守って必ず提出しましょう。 3 進路実現のために、小論文や作文を書くことができるようにしましょう。
-----------	--

教科	地理歴史	科目	地理A	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	2		
教材	教科書	高等学校 新版 地理A、標準高等地図 - 地図で読む現代社会 -		出版社名	第一学習社、帝国書院				
	副教材	地理(A・B)ワークブック(高教研地歴・公民部会地理部門)、新版 地理Aノート(第一学習社)							
学習の目標	1 現代世界の地理歴認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を身に付けます。 2 現在、世界が抱えている諸問題を解決するためには国際的な協力が必要であることを理解します。 3 世界の諸地域の民族とその歴史を学び、異文化を理解し尊重する態度を身に付けます。								
		教材内容(単元)	学習計画・内容			考查計画			
1 学期	4月	1章①球面で世界を考えよう ②世界地図の特徴を知ろう ③世界観の広がりとは地図 ④国家の領域と領土問題	○地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けるとともに、方位や時差、日本の位置と領域、国家間の結びつき等について捉えます。 ○地形や気候などの自然環境の主な要素の分布の特色を世界的な視野から大観するとともに、民族・宗教や生活・文化を支える産業などの社会環境は歴史的背景を反映したものであること等を理解します。			中間考查			
	5月	⑤国家をこえた結びつき ⑥交通機関の発達と縮小する地球世界 ⑦情報・通信で一体化する世界 ⑧人・「もの」・資本で結びつく世界							
	6月	2章①さまざまな環境の中で暮らす人々 ②世界的視野からみた地形 ③さまざまな地形と生活 ④世界的視野からみた気候						期末考查	
	7月	⑤世界の気候と生活 ⑥世界の民族・宗教と生活・文化 ⑦生活・文化を支える産業の地域性							
2 学期	8月	3章①東アジアの暮らしを学ぶ ②東南アジアの暮らしを学ぶ ③南アジアの暮らしを学ぶ ④北アフリカ・西アジア・中央アジアの暮らしを学ぶ	○世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けて捉え、その多様性について理解するとともに、異文化を理解し尊重することの重要性について考察します。 ○人口、食料、都市・居住、資源・エネルギー及び地球環境問題を、地球的及び地域的視点から捉え、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解し、それらの課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察します。 ○身の回りにある様々な地図の収集や地形図の読図、目的や用途に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身に付けます。			中間考查			
	9月	⑤中南アフリカの暮らしを学ぶ ⑥ヨーロッパの暮らしを学ぶ ⑦ロシアと周辺諸国の暮らしを学ぶ ⑧北アメリカの暮らしを学ぶ ⑨中央・南アメリカの暮らしを学ぶ ⑩オセアニアの暮らしを学ぶ							
	10月	4章①地球的課題の地理的な側面 ②人口問題 ③食料問題 ④都市・居住問題 ⑤資源・エネルギー問題 ⑥地球環境問題 ⑦地球的課題への取り組みと国際協力						期末考查	
	11月	1章①地図をもって生活しよう ②身近な地図を読みこなそう							
	12月	③地図表現について考えよう ④地形図を活用しよう							
	1月	2章①日本の自然と生活 ②自然災害に備えた暮らし							
3 学期	2月	3章①地域調査の方法 ②水とともに暮らすまち「白山市」を考える	○我が国の自然環境の特色と自然災害との関わりについて理解するとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察します。 ○生活圏の地理的な諸課題を地域調査やその結果の地図化などによって捉え、その解決に向けた取組などについて探究する活動を通して、日常生活と結び付いた地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けます。			学年末考查			
	3月								
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用		技能		知識・理解		
	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとしている。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。		現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や探究の方法を理解し、その知識を身に付けている。				
評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。								
学習へのアドバイス	1 日頃から新聞の国際面を読み、海外の出来事などについて関心を持ちましょう。 2 興味・関心をもったテーマは、図書館やインターネットを利用して積極的に調べましょう。 3 定期考查で知識の定着を図りましょう。								

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	3年(園芸クリエイト科 選択)	単位数	4
教材	教科書	高校数学Ⅱ 新訂版			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 複素数と方程式、図形と方程式、いろいろな関数、微分と積分についての理解を深めます。 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 1章 複素数と方程式 1節 式の計算 2節 複素数と2次方程式	○整式や分数式の計算ができるようにします。また、虚数を理解し、複素数の範囲で2次方程式が解けるようにします。	中間 考 査
	5月 3節 高次方程式	○因数定理を用いて、高次方程式が解けるようにします。	
	6月 4節 式と証明	○等式や不等式を証明するための論証の方法を学習します。	
	7月 2章 図形と方程式 1節 点と座標 2節 直線の方程式 3節 円の方程式	○点の座標や内分・外分について理解します。また、直線や円の方程式を求めることができるようにします。	
2 学期	8月 4節 不等式の表す領域	○円や直線で分けられる領域について理解し、図示できるようにします。	中間 考 査
	9月 3章 いろいろな関数 1節 三角関数 2節 加法定理/弧度法	○一般角や弧度法を理解し、加法定理を用いて、様々な値を求めることができます。	
	10月 3節 指数関数	○様々な指数を含んだ計算ができ、指数関数のグラフがかけられるようにします。	
	11月 4節 対数関数	○様々な対数を含んだ計算ができ、対数関数のグラフがかけられるようにします。	
	12月 4章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 2節 導関数の応用	○導関数の計算ができるようにします。また、接線の方程式を求めたり、3次関数のグラフがかけられるようにします。	
	12月 3節 積分の考え	○不定積分や定積分の計算ができるようにします。また、定積分を用いて、グラフで囲まれた部分の面積が求められるようにします。	
3 学期	1月		学 年 末 考 査
	2月		
	3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	複素数と方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分と積分の考え方に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、複素数と方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分と積分における数学的な見方や考え方を身に付けている。	複素数と方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分と積分において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	複素数と方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分と積分における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えたりしましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。
-----------	--

教科	理科	科目	生物基礎	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高校 生物基礎 新訂版			出版社名	実教出版	
	副教材	サンダイアルNavi&トレーニング生物基礎(啓林館)、生物基礎実験ノート・問題集(高教研理科部会生物部門)					

学習の目標	1 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。 2 目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てます。 3 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1学期	4月 3章 生物の体内環境とその維持 2節 体内環境の維持のしくみ	○問題演習を通して2年次の学習内容の復習をします。 ○免疫とそれに関わる細胞の働きについて理解します。 ○生物の体内環境の維持に関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、生物学的に探究する能力を高めます。	中間考査 期末考査
	5月 3節 免疫		
	6月		
	7月		
2学期	8月 4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移	○生物の多様性と生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性について認識します。 ○陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解します。 ○気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解します。 ○生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解します。 ○生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識します。	中間考査 期末考査
	9月 2節 気候とバイオーム		
	10月 3節 生態系と物質循環		
	11月 4節 生態系のバランスと保全		
3学期	12月 4節 生態系のバランスと保全【探究活動】	○生物の多様性と生態系に関する探究活動を行い、生物学的に探究する能力を高めます。	学年末考査
	1月		
	2月 3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
	生物や生物現象に関わり、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	理科の見方・考え方を働かせ、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	日常生活や社会との関連を図りながら、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業は集中して臨むこと。また、その日のうちに復習をしましょう。 2 問題集を活用し、知識の定着を行いましょ。う。 3 定期考査には全力で臨みましょう。
-----------	---

教科	保健体育	科目	体育	学年	3年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	現代高等保健体育 改訂版			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。 2 公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高めます。 3 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 体づくり運動	○ 南校体操、補強運動や集団走を正確に身に付けます。 ○ 集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高めます。 ○ 体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。 ○ バレーボール、ソフトボール、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	
	5月	2 陸上競技		
	6月	3 球技Ⅰ		
	7月	4 体育理論		
2 学期	8月	5 体づくり運動 ダンス	○ 運動会の集団演技の練習を行う中で、集団の中での協調性を養います。 ○ 長距離走を行うことにより、体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。 ○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	
	9月			
	10月	6 陸上競技		
	11月	7 球技Ⅱ		
	12月	8 体育理論		
3 学期	1月	9 球技Ⅱ	○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。	
	2月			
	3月			

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解
評価の観点	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の強力的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするために各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技能(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価の方法	「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」の4つの観点で総合的に評価します。学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均することによって行います。			
学習へのアドバイス	1 「鍛」を目標に体力・気力の充実を図りたくましく生きる力を身に付けていきましょう。 2 積極的に参加し、自主的に協調性をもって行動しましょう。 3 一人一人が健康と安全に留意して臨みましょう。			

令和4年度 愛媛県立今治南高等学校 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	学年	3年(園芸クリエイト科 選択)	単位数	4
教材	教科書	Viva! English Communication II			出版社名	第一学習社	
	副教材	フレーズで英単語3000 (浜島書店)					

学習の目標	1 英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。 2 物語や説明文などを読んで、情報や書き手の意図を理解したり、要点を把握する力を伸ばします。 3 日常的话题について、自分自身の考えなどを整理して英語で発表する姿勢を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 Lesson 1 <i>Emoji Communications</i>	○絵文字やスタンプが表すメッセージについて学びます。	中間 考 査
	5月 Lesson 2 <i>Kendamas Worldwide</i>	○けん玉の世界の人気について読み取ります。	
	6月 Lesson 3 <i>I'm from Mars!</i>	○火星について学び、人類が火星に移住できるか否かを考えます。	
	7月 Lesson 4 <i>Appli Koshien</i>	○アプリ甲子園の目的や生徒にもらたすものについて考えます。	
2 学期	8月 Lesson 5 <i>Things Have Souls!</i>	○使いやすさと美しさを両立させるインダストリアルデザインについて学びます。	中間 考 査
	9月 Lesson 6 <i>Looking for New Energy</i>	○ごみをエネルギーに変える技術や方法について学びます。	
	10月 Lesson 7 <i>Taylor's Reading Corners</i>	○東日本大震災の犠牲者であるALT、テイラー・アンダーソンさんの遺志を受け継いだ活動について学びます。	
	11月 Lesson 8 <i>The World's Poorest President</i>	○ウルグアイのムヒカ大統領のスピーチから、本当の豊かさとは何かを考えます。	
3 学期	1月 Lesson 9 <i>Shitamachi Bobsleigh Project</i>	○モノづくりの町、東京都大田区の町工場の冬季オリンピックを目指した終わりなき挑戦について読み取ります。	学 年 末 考 査
	2月		
	3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 予習、復習を行い、積極的に声に出して音読しましょう。 2 板書事項は確実にノートに書きとめ、重要な所が分かるノート作りをしましょう。 3 表現に必要な基本的な語彙、語法、構文を身に付けましょう。
-----------	---

教科	農業	科目	課題研究	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	特になし			出版社名		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 興味・関心をもてる内容について自ら課題を設定します。 2 計画を立て、毎時間の活動の準備から片付けまでを全て自分たちで行います。 3 課題解決のために、調査・研究・実験・作品制作等を行い、考える力や解決する力を身に付けます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	1 テーマの設定	○1年間を有意義かつ無理なく活動するために、自分たちの興味・関心のあるテーマを設定し、テーマ発表を行います。 ○研究テーマに沿った、自分たちの個人的な年間計画をつくります。 ○調査・観察・実験等を通して、日々の活動を正確に記録しながら、科学的な結果を導き出せるよう取り組みます。	
	5月	2 計画		
	6月	3 調査・研究の開始		
	7月			
2 学期	8月	4 計画の変更	○1学期を終え、自分たちの研究に対して変更や修正の必要がないかを検討します。 ○調査・観察・実験等を通して、日々の活動を正確に記録しながら、科学的な結果を導き出せるよう取り組みます。 ○1年間の活動をまとめるとともに、発表会の準備を行います。	
	9月	5 調査・研究の開始		
	10月	6 調査・研究のまとめ		
	11月			
	12月			
3 学期	1月	7 発表会	○課題研究発表会を通して、相手に分かりやすく伝える方法や工夫を身に付けます。	
	2月			
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	課題研究について関心を持ち、自ら研究課題を選択し、意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度を身に付けている。	課題研究に関心を持ち、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	課題研究に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、研究内容を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	課題研究に関する基礎的・基本的な知識を身に付けているとともに、科学を学ぶ中で自然の大切さを理解している。
評価の方法	各学期の活動状況で算出します。計画の立案、調査・研究の実施、まとめ、発表、記録簿など、研究に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 農業に関する分野の中から、自分の興味・関心のあるテーマを選び研究を行いましょう。 2 授業では学習する機会の少ない資格の取得や、専門的な学習に挑戦しましょう。 3 主体的に考えて取り組み、自分が決めた目標を達成する努力をしましょう。			

教科	農業	科目	総合実習(フラワーデザイン)	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択)	単位数	5
教材	教科書	特になし			出版社名		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 実験・実習等の体験的な学習を通して、総合的な技術を身に付けます。 2 様々な花材を用いて花飾りを作り、花材を育てることで花材の特性を学習します。 3 デザインに関する学習を深化するために、コンピュータデザインも行います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画		
1 学期	4月	1 花の栽培と利用 (1)カーネーションの栽培	○栽培計画を作成します。 ○花材の収穫をします。 ○花材の調整をします。	期末考查		
	5月	(2)カーネーションを利用した フラワーデザイン	○GAPに基づいた労働環境を学びます。 ○アレンジメントを学習します。 ○デザイン画を学習します。			
	6月		○フラワー装飾技能検定3級を学びます。 ○花束とリボンを制作します。 ○バスケットアレンジメントやブートニアを制作します。			
	7月		○フラワー装飾技能検定3級の筆記試験対策の学習と実技練習をします。			
2 学期	8月	2 コンピュータを用いたデザイン (1)イラストレーターの基本技術	○直線と曲線を学習します。 ○線と面を学習します。 ○多角形と図形の複合を学習します。 ○配色について学習します。	期末考查		
	9月	(2)イラストレーターによる作品制作	○販売実習用広告を制作します。 ○販売実習用広告を制作・評価します。 ○菊花展用ポスターを計画・制作します。 ○菊花展用ポスターを制作します。 ○菊花展用ポスターを制作・評価します。			
	10月		3 季節のアレンジメント (1)ブライダルブーケの制作		○ブーケの特性を理解します。 ○キャスケードブーケを制作します。 ○ホガースタイプを制作します。	
	11月				(2)クリスマスリース	○デザイン・材料の収集調整を学びます。 ○リースを制作します。 ○作品を評価します。
	12月					
3 学期	1月	4 観葉植物の利用 (1)テラリウムの制作	○デザイン・加工を学習します。 ○配置を考えます。 ○作品を評価します。	学年末考查		
	2月					
	3月					

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	フラワーデザインに関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	フラワーデザインに関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	フラワーデザインに関する基礎的な技術を身に付けている。花材に合わせてその技術を適切に活用している。	フラワーデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、アレンジテクニックを正しく理解している。

評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 フラワー装飾技能検定2級取得を目指し、必要な技術や知識を習得しましょう。 2 フラワーデザイン競技県大会やその他の競技会に参加し、技能の向上に努めましょう。 3 身の回りの花材を用い、花を大切に、美しく花飾りができる技能や知識を習得しましょう。
-----------	--

教科	農業	科目	総合実習（園芸セラピー）	学年	3年（園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択）	単位数	5
教材	教科書	特になし			出版社名		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 実習を通して園芸セラピーの実践的な技術を身に付けます。 2 高齢者や地域との交流を図ることにより、豊かな人間性を養います。 3 実習を通して園芸作物の栽培方法を学習します。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	総合実習ガイダンス		
	5月	第1章 園芸セラピーのプログラム (1)プロジェクト研究の計画・立案	○園芸セラピー活動の1年間の活動内容を計画・立案します。	中間考查
	6月	(2)農園芸活動とプロジェクト実施 ・夏野菜の栽培 ・施設での農園芸活動	○プロジェクト研究の計画・立案、実践を行います。 ○介護施設ほ場で、園芸セラピーに配慮した栽培を行います。	
	7月	・プロジェクト研究活動 ・植物を用いた作品制作 ・園芸セラピーにおける交流活動 ・GAPを意識した管理 ・農作物の加工	○園芸セラピーの知識や技術を用いた交流活動について学習します。 ○GAPについて学習します。 ○農産物を用いた加工品を行います。	期末考查
2 学期	8月	第2章 交流活動の実践 (1)介護福祉施設での交流活動の実践	○介護施設の行事に参加し、コミュニケーション能力を養います。	中間 考查
	9月	第1章 園芸セラピーのプログラム (3)農園芸活動とプロジェクト実施 ・秋冬野菜の栽培 ・施設での農園芸活動	○介護施設ほ場で、園芸セラピーに配慮した栽培を行います。 ○園芸セラピーに役立つ作品制作プログラムを考えます。	
	10月	・プロジェクト研究活動 ・植物を用いた作品制作 ・農作物の加工	○植物を用いた園芸セラピーの知識や技術を学習します。	
	11月	第2章 交流活動の実践 (2)交流による園芸セラピー活動実践	○園芸セラピーの知識や技術を用いた交流活動を行います。	
	12月	第3章 交流活動の評価とプロジェクト研究のまとめ (1)プロジェクト研究のまとめと発表	○発表のための資料をまとめます。 ○プロジェクト研究の発表を行います。	
3 学期	1月	(2)園芸セラピー活動のまとめ	○1年間の活動内容をまとめます。	学年末 考查
	2月			
	3月			

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	園芸セラピーに関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	園芸セラピーに関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	園芸セラピーに関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	野菜栽培に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、野菜の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。

評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 園芸セラピーを必要としている人に対して、適切な栽培アドバイスできる能力を身に付けましょう。 2 野菜の栽培を通して地域の人、高齢者との交流を通して豊かな人間性を養いましょう。 3 適切な服装で安全な実習を心掛けましょう。
-----------	--

教科	農業	科目	草花	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	草花		出版社名	実教出版		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 草花を育てる技術を身に付けるとともに、品質と生産性の向上など草花栽培について学習します。 2 草花栽培の面白さと奥深さを体験し、草花栽培に対する関心や意欲を醸成します。 3 草花について、専門的に学び、草花のスペシャリストを目指します。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第3章 草花の特徴と栽培技術 第1節 草花の生育と環境 第2節 品種改良と繁殖	○草花の一生について学習します。 ○草花の品種と品種改良技術、繁殖方法について学習します。 ○懸崖菊の栽培管理技術について学習します。 ○カーネーションの栽培管理と出荷調整について学習します。	中間考查 期末考查
	5月	第4章 切り花生産 第4節 宿根草の切り花 ②キク		
	6月	③カーネーション		
	7月			
2 学期	8月	第3章 草花生産と消費の動向 第3節 草花の生育と栽培技術 第4節 生産施設と栽培環境	○草花の生育と栽培管理について学習します。 ○生産施設の機能や構造、複合的環境制御について学習します。 ○懸崖菊の栽培管理と開花調節技術について学習します。 ○菊花展を通して販売と販売準備について学習します。 ○シクラメンやポインセチアの栽培管理と出荷調整について学習します。 ○切り花の品質と品質管理技術について学習します。 ○花壇用草花の特徴と栽培管理について学習します。	中間考查 期末考查
	9月	第4章 切り花生産 第4節 宿根草の切り花 ② キク		
	10月	第5章 鉢もの生産 第3節 鉢花 ② シクラメン		
	11月	⑥ ポインセチア 第4章 切り花生産 第2節 切り花の品質保持		
	12月	第6章 花壇用草花生産 第1節 花壇用草花生産の特徴 第2節 花壇用草花の栽培		
3 学期	1月	第7章 草花経営の改善 第1節 生産と流通の改善	○環境保全型草花生産と環境認証プログラムについて学習します。	学年末考查
	2月			
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
		草花の栽培に関心を持ち、学習の取り組みが意欲的である。座学では授業の準備を整え、時間内の内容が理解するように努め、実習の際には、準備・後片付けを自ら進んで取り組んでいる。	学習の内容を記録・観察し、プリントやレポートなどにまとめる能力を身に付けるように取り組んでいる。	草花栽培の実習を真剣に取り組み、定植・整枝・誘引・育苗などの技能を身に付けている。
評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢や実習での技能などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 懸崖菊の栽培を中心として、草花の高品質栽培について学習しましょう。 2 基本的な知識・技術だけでなく、園芸的なセンスも鍛錬しましょう。 3 難易度の高い栽培管理を通して、完成したときの達成感を味わいましょう。			

教科	農業	科目	食品流通	学年	3年(園芸クリエイト科 選択)	単位数	2
教材	教科書	新版 食品流通			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 食品の特性と安全な食品を安定的に供給する食品流通の役割や流通構造を学習します。 2 販売や販売情報、マーケティングなど、食品流通の基礎的な知識や技術を学習します。 3 食品の品質保証の必要性と日本の食品規格・基準について学習します。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1章 現代生活と食品流通 (1) 流通の動き (2) 食品流通の役割	○ 流通のなりたちを知り、流通とは何かを理解するとともに食品流通に求められる安定・安全・効率性を理解します。	中間 考查
	5月			
	6月	第2章 経済活動と食料 (1) 世界の食糧事情 (2) 日本の食生活、食料需給と自給率 (3) 私たちをとりまくフードシステム	○ 世界的な視点と身近な食生活の視点から、世界と日本の食の動向について理解します。	
7月	○ 日本の食生活の特徴や日本の食料自給について理解します。 ○ フードシステムのしくみを理解します。 ○ G A Pの取組の意義について理解します。			
2 学期	8月	第3章 食品流通のしくみと働き (1) 食品流通の特徴 (2) 食品流通のしくみ (3) 価格の形成と流通経費	○ 商品としての食品の特徴を理解し、流通経路の概要を理解します。	中間 考查
	9月		○ 卸売業者や小売業者の役割を理解します。	
	10月	第4章 主な食品の流通 (1) 米の流通 (2) 青果物の流通	○ 需要と供給曲線、価格決定のしくみを学びます。	
	11月		○ 米・青果物の流通の流れを理解する。	
12月	第5章 食品の品質と規格 (1) 品質と品質保証 (2) 規格、表示と検査	○ 食品の品質と安全、品質保証について理解します。	期末 考查	
3 学期	1月	第7章 食品マーケティング (1) マーケティングとは何か (2) マーケティングの発展	○ マーケティングの意味と目的、特徴を理解します。	学年末 考查
	2月		○ こんにちのマーケティングの基本的な課題を理解します。	
	3月			

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	食品流通に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	食品流通の諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識を基に、食品流通業に携わる者として適切に判断し、表現する能力を身に付けている。	食品流通に関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付け、流通の諸問題解決に向け合理的に計画し、その技術を活用している。	食品流通に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、その意義や役割を理解している。

評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 食品流通に求められる安定・安全・効率性を理解します。 2 農産物の流通の仕方について学習をします。 3 流通の知識や技術を身に付けます。
-----------	--

教科	農業	科目	園芸セラピー	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	福祉のための農園芸活動			出版社名	農文協	
	副教材	特になし					

学習の目標	1	2年次の学習を深めるために、実際に老人福祉施設において園芸セラピー実習を行います。
	2	園芸を通して地域や高齢者との交流を図り、豊かな人間性を養います。
	3	実習を通して園芸作物の栽培方法を学習します。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1 学期	4月	1 園芸セラピーのプログラム (1)園芸セラピーについて ○夏野菜の栽培	○年間計画の立案をします。 ○福祉に役立つ夏野菜栽培を行います。	中間 考查	
	5月	(2)プログラムの概要 (3)プログラムの計画 ○夏野菜の栽培	○老人適応プログラムについて学習します。 ○施設別にプログラムの計画を立案します。 ○福祉に役立つ夏野菜栽培を行います。		
	6月	2 施設について (1)施設における準備 ○夏野菜の栽培	○老人福祉施設の見学を行います。 ○福祉に役立つ夏野菜栽培を行います。		期末 考查
	7月	3 セラピーガーデン (1)セラピーガーデンの概要 ○夏野菜の栽培	○セラピーガーデンの概要について学習します。 ○福祉に役立つ夏野菜の栽培を行います。		
2 学期	8月	(2)海外のセラピーガーデン	○海外におけるセラピーガーデンの社会的地位について学習します。	中間 考查	
	9月	(3)海外の事情 ・イギリス ・アメリカ ○秋野菜の栽培	○セラピーの先進国の事例について学習する。 ○福祉に役立つための秋野菜栽培を行います。		
	10月	・日本 ○秋野菜の栽培	○日本のセラピーガーデンについて学習します。 ○福祉に役立つための秋野菜栽培を行います。		
	11月	4 資材と道具 (1)セラピー用器具の特徴 ○秋野菜の栽培	○園芸セラピーで使用する道具について学習します。 ○福祉に役立つ秋野菜栽培を行います。		
	12月	(2)障がいに応じた器具 5 園芸セラピーの展望 (1)園芸セラピーの問題点	○障がいの程度に応じた器具の使い分けについて学習します。 ○現在の園芸セラピーの課題を学習します。		期末 考查
3 学期	1月	(2)1年間のまとめ	○1年間の学習内容の要点をレポートにまとめ発表します。	学年 末 考 査	
	2月				
	3月				

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	高齢者の健康と生活、福祉について関心を持ち、適切な自立生活支援ができる能力と実践的な態度を身に付けている。	高齢化の進展状況について理解し、社会福祉の現状と課題について考え、適切に判断し工夫できる創造的な能力を身に付けている。	高齢者の心身の変化に対応し、園芸を生かした生活支援を適切に行うことのできる能力を身に付けている。	高齢者の健康と生活、介護に関する知識と技術を身に付け、生活支援と福祉の充実の必要性を理解している。
評価の方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考查・小テスト」「課題やノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 園芸セラピーについて基本的な学習をしましょう。 2 実習中心となりますので、野菜栽培の実践的な技術を身に付けましょう。 3 安全に実習する態度を養いましょう。			

教科	農業	科目	生物活用	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	生物活用			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 野菜や草花の栽培を通して、園芸作物の活用に必要な知識と技術を習得します。 2 園芸作物を用いた作品制作のための知識と技術を習得します。 3 社会動物の飼育と活用について学習します。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 第1章 生物活用の意義と役割 (1)生物活用の意義と役割 (2)植物・園芸と人間生活	○生物活用の意義と役割を学習します。 ○人間と園芸の関わり方を学習します。 ○種類と特性について学習します。 ○フラワー装飾について学習します。 ○栽培の知識・技術を習得します。 ○栽培を実践し栽培技術を習得します。	中間考查
	5月		
	6月 第3章 園芸作物の栽培と活用 (1)園芸作物の栽培 ・園芸デザイン ・フラワーデザイン		
7月	・ハーブの栽培 ・野菜の栽培	期末考查	
2学期	8月 (2)園芸作物の活用 ・草花の活用	○草花を用いた作品についての学習を行います。 ○ハーブを用いた作品についての学習を行います。 ○野菜の加工品についての学習を行います。 ○社会動物の特性を理解します。 ○社会動物の飼育方法や活用方法を学習します。	中間考查
	9月		
	10月		
	11月 第4章 動物の飼育と活用 (1)社会動物の特性 (2)社会動物の飼育と活用		
	12月 第5章 生物活用の実際 (1)植物を用いた交流活動の実際		
3学期	1月 (2)交流活動のまとめと評価	○交流活動の評価について学習します。	学年末考查
	2月		
	3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	生物活用に関心をもち積極的に質問に答え、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続的に記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	生物活用に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	生物活用に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	生物活用に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、栽培環境や栽培管理を正しく理解している。

評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 野菜栽培を通して栽培の基本的技術を学習しましょう。 2 家庭でも役立つ園芸作物の知識や栽培技術を習得しましょう。 3 園芸作物の活用方法が身に付く体験学習をノートに記録しましょう。
-----------	--

教科	農業	科目	生物活用	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	生物活用			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 野菜や草花の栽培を通して、園芸作物の活用に必要な知識と技術を習得します。 2 園芸作物を用いて生活の質の向上や健康改善を図る能力と態度を養います。 3 実習を通して園芸作物の栽培方法を学習します。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 第1章 生物活用の意義と役割 (1)生物活用の意義と役割 (2)植物・園芸と人間生活	○生物活用の意義と役割を学習します。 ○人間と園芸の関わり方を学習します。	中間考查 期末考查
	5月 第3章 園芸作物の栽培と活用 (1)農産物の栽培と活用 ・野菜・作物の栽培(レタス他)	○栽培を実践し栽培技術を習得します。 ○家庭でプロジェクトを行います。	
	6月 ・農産物の活用(イチゴ・柑橘等) ・ハーブ ・キッチンガーデン	○野菜の加工・利用を学習します。 ○種類と特性について学習します。	
	7月 ・GAP 第5章 生物活用の実際 (1)交流活動の実施の流れ	○農業生産工程管理を学習します。 ○交流活動の準備と活動の流れ、注意内容を学習します。	
2学期	8月 (2)活動計画の立案・実施	○家庭プロジェクトをまとめます。 ○交流活動の立案の仕方を学習します。	中間考查 期末考查
	9月 第3章 園芸作物の栽培と活用 (2)草花・野菜の栽培と活用 ・野菜・作物の栽培(大根他)	○家庭でのプロジェクトを行います。 ○栽培を実践し栽培技術を習得します。	
	10月 ・草花や多肉植物の種類と特性 ・花壇の活用と管理 ・作品制作	○草花や多肉植物の種類と特性について学習します。 ○草花や多肉植物を用いた作品制作を行います。	
	11月 ・農産物の活用(大根他)	○野菜の収穫、加工利用を学習します。	
12月 第5章 生物活用の実際 (3)植物を用いた交流活動の実際	○園芸セラピーを考慮した交流活動の在り方について学習します。 ○家庭プロジェクトをまとめます。	期末考查	
3学期	1月 (4)交流活動のまとめと評価	○交流活動の評価について学習します。	学年末考查
	2月		
	3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	生物活用に関心を持ち積極的に質問に答え、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続的に記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	生物活用に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	生物活用に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	生物活用に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、果樹の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。

評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 野菜栽培を通して栽培の基本的技術を学習しましょう。 2 家庭でも役立つ園芸作物の知識や栽培技術を習得しましょう。 3 園芸作物の活用方法が身に付く体験学習をノートに記録しましょう。
-----------	--

教科	農業	科目	生物活用	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	生物活用			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 野菜や草花の栽培を通して、園芸作物の活用に必要な知識と技術を習得します。 2 園芸作物を用いて生活の質の向上や健康改善を図る能力と態度を養います。 3 実習を通して園芸作物の栽培方法を学習します。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	第1章 生物活用の意義と役割 第3章 園芸作物の栽培と活用	○夏野菜栽培から栽培技術を習得します。	中間考査 期末考査
	5月	(1)生物活用の意義と役割 (2)野菜の栽培と特性(果菜類) (3)植物・園芸と人間生活	○生物活用の意義と役割を学習します。 ○野菜栽培を通して技術を習得します。 ○園芸が心身に与える影響を学習します。	
	6月	(4)野菜の栽培と活用 (5)植物園芸の活用	○園芸のもつ特性について学習します。 ○人間と園芸の関わり方を学習します。	
	7月	(6)野菜の加工・利用 (7)植物を扱うさいの留意点 (8)GAPの取組	○野菜の栽培から栽培技術を習得します。 ○野菜の収穫、加工・利用を学習します。 ○植物に接する際の留意点を学習します。 ○農業生産工程管理を学習します。	
2 学期	8月	栽培準備	○秋野菜の栽培準備をします。	中間考査 期末考査
	9月	第2章 生物を活用した療法 第3章 園芸作物の栽培と活用	○暮らしの中における生物を活用した療法について学習します。	
	10月	(1)生物を活用した療法 (2)野菜の栽培と活用(葉菜・根菜類) (3)園芸療法	○野菜の栽培を通して栽培技術を習得します。(葉菜・根菜類) ○園芸療法について学習します。	
	11月	(4)野菜の加工・利用 (5)園芸デザイン	○野菜の収穫、加工・利用を学習します。 ○草花の種類や特性、活用を習得します。	
12月	(6)室内園芸装飾 (7)バリアフリーとユニバーサルデザイン	○室内装飾の活用について学習します。 ○福祉的なデザインについて学習します。		
3 学期	1月	第4章 生物活用の実際 (1)交流活動とは (2)交流活動の実施	○交流活動の在り方について学習します。 ○1年間の授業についてまとめます。 ○まとめた内容を発表します。	学年末考査
	2月			
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	生物活用に関心を持ち積極的に質問に答え、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	生物活用に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	生物活用に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	生物活用に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、果樹の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。

評価の方法	各学期の定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 野菜栽培を通して栽培の基本的技術を学習しましょう。 2 家庭でも役立つ園芸作物の知識や栽培技術の習得しましょう。
-----------	---

教科	農業	科目	食と健康	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	3
教材	教科書	食と健康			出版社名	今治南高等学校	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 ダイズの栽培から加工までに必要な知識と技術を実習を通して習得します。 2 ジャム・ビスケット・麺類・ハム・ベーコンなどの加工食品の製造工程を理解します。 3 地産地消や安心安全な食品についての知識や技術を習得します。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 1 食と生活のつながり	○食育基本法の意義や背景を学習します。 ○私達の食事と世界や健康とのつながりを学習します。	中間考查 期末考查
	5月 2 ダイズの特徴	○豆の種類について学習します。 ○ダイズの特徴について学習します。	
	6月 3 穀物の加工	○マドレーヌの製造工程を学習します。	
	6月 4 ダイズの栽培	○ダイズの栽培について学習します。 ○ダイズの播種について実習を行います。	
	7月	○畑の準備を実習します。 ○ダイズの定植実習を行います。 ○定植後の管理実習を行います。 ○中耕・除草・土寄せの実習を行います。	
2学期	8月	○中耕・除草・土寄せ・病害虫防除の実習を行います。 ○ダイズの結きょうの観察を行います。	中間考查 期末考查
	9月 5 発酵醸造食品	○味噌・醤油の製造工程を学習します。	
	9月 6 GAPとHACCP	○GAP制度について学習します。 ○GAPとHACCPへの取組を学習します。	
	10月 7 小麦の加工	○パンの製造工程を学習します。 ○パンの製造実習を行います。	
	11月 8 ダイズの加工	○うどんの製造工程を学習します。 ○豆腐の製造原理や工程を学習します。 ○豆腐の製造実習を行います。	
12月 9 畜産物の加工	○ハム・ベーコンの製造を学習します。 ○ハム・ベーコンの製造実習を行います。		
3学期	1月 10 食と郷土の関わり	○地産地消について学習します。	学年末考查
	2月		
	3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	食と健康に関心をもち積極的に質問に答え、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	食と健康に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	製造実習に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	食と健康に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、食品加工の製造工程を正しく理解している。
評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 食品製造実習を行うので、衛生的で正確な実習を心掛けましょう。 2 ダイズの栽培から加工のプロジェクト学習を行います。正確な記録を心掛けましょう。 3 身の回りの食品表示や包装に気をかけて、安心安全な食品に興味関心をもちましょう。			

教科	農業	科目	フラワーデザイン	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型)	単位数	2
教材	教科書	フラワーデザイン			出版社名	今治南高等学校	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 切花・ドライフラワー・造花等を用いて、アクセサリ制作やディスプレイ等を行います。 2 豊かな生活空間を作り出すための活動や、イベント・セレモニー等に参加します。 3 職業人として活躍できるスペシャリストに必要な能力と態度の基礎を育てます。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 フラワーデザインの実際 (1)フラワーデザインの基礎知識 (2)ベーシックデザイン (3)アレンジメントの制作	○フラワー装飾検定の基礎知識を学習します。 ○アレンジメントのスタイルを学びます。 ○コンポジションを学習します。 ○プロポーションとバランスを学びます。 ○テクニックを学習します。 ○トライアングュラーを制作します。 ○ヴァーティカルを制作します。 ○Lシェープを制作します。 ○ラウンドを制作します。 ○ダイヤモンドを制作します。 ○アレンジメントの評価をします。	期末考查
	5月			
	6月			
	7月			
2 学期	8月	(4)押し花絵 (5)GAPについて (6)ブーケの制作 (7)リースの制作	○押し花絵の基本を理解します。 ○花材の調整を学習します。 ○押し花絵を制作します。 ○押し花絵の評価をします。 ○安全な労働環境について学びます。 ○ブーケの種類と名称を理解します。 ○バランス・テクニックを学習します。 ○ブライダルブーケを制作します。 ○ブライダルブーケの評価をします。 ○リースの種類を学習します。 ○材料の調整を理解します。 ○リースを制作します。 ○リースを評価します。	期末考查
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
3 学期	1月	(8)季節のアレンジメント	○正月のアレンジメントを制作します。 ○冬のアレンジメントを制作します。 ○季節のアレンジメントの評価をします。	学年末考查
	2月			
	3月			

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	フラワーデザインに関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	フラワーデザインに関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	フラワーデザインに関する基礎的な技術を身に付けている。花材に合わせてその技術を適切に活用している。	フラワーデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、アレンジテクニックを正しく理解している。
評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 基本的なアレンジメントやブーケ等の制作を通して、花を美しく活用する技術を習得しましょう。 2 花材や薬物の種類、用具や資材の名称を覚えるようにしましょう。 3 安全に実習する態度を養いましょう。			

教科	農業	科目	グリーンデザイン	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型)	単位数	2
教材	教科書	グリーンデザイン			出版社名	今治南高等学校	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 屋外・屋内において、根の付いた草花・樹木を用いて、豊かな生活空間を作り出す活動をします。 2 庭園の設計や庭作りの基礎を学習し、箱庭、坪庭の製作に挑戦します。 3 庭や庭木の管理を通して、生活環境面の向上に役立つ園芸作物を活用し、校内外の緑化を推進します。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	1 庭園の設計・製図の基礎	○造園製図の描き方、図面の種類と描き方について学習します。 ○造園デザインの描き方・栽植デザインの描き方を学習し、設計図を作製します。 ○AutoCADの基本操作について学習し、各種機能の理解と作図技能を反復練習します。 ○坪庭の設計図の作製を行います。 ○地割り・造園材料について検討し、資材の調達計画を立てます。 ○製作における工程管理を確認します。	期末考査
	5月	2 CADを用いた設計		
	6月	3 坪庭の製作		
	7月			
2 学期	8月		○坪庭で地割り・資材調達・整地などの作庭作業をします。	期末考査
	9月		○植栽・石組み・土盛りなどの作庭作業をします。	
	10月	4 造園樹木の管理	○高木樹木の剪定を学習し、実践します。	
	11月	5 菊花展の準備	○庭園の除草・かん水を実践します。	
	12月	6 造園樹木の管理	○展示台の設置・菊鉢の配置・学習展の展示物の準備をします。	
3 学期	1月	7 屋内庭園・屋内装飾	○高木樹木の剪定を学習し、実践します。	学年末考査
	2月	8 まとめ	○庭園の除草・かん水を実践します。	
	3月		○プランター・鉢物・観葉植物などで屋内装飾の基本を学習し、配置を実践します。	
			○2年間の学習のまとめをします。	

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の方法	グリーンデザインに関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	庭園の設計・製図に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	坪庭の製作に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	グリーンデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、造園樹木の管理方法を正しく理解している。
学習へのアドバイス	各学期の定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
	1 造園樹木の管理について、基本を確認し、家庭での造園技術者のきっかけ作りに行きましょう。 2 播種・植え付け・管理方法の基礎基本を反復実践し、基礎基本を身に付けましょう。 3 作業に使う道具の名称を覚え、使い方の基本を学び、安全に実習する態度を養いましょう。			

教科	農業	科目	園芸セラピー	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	福祉のための農園芸活動			出版社名	農文協	
	副教材	特になし					

学習の目標	1	2年次の学習を深めるために、実際に老人福祉施設において園芸セラピー実習を行います。
	2	園芸を通して地域や高齢者との交流を図り、豊かな人間性を養います。
	3	実習を通して園芸作物の栽培方法を学習します。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 園芸セラピーのプログラム (1)園芸セラピーについて ○夏野菜の栽培	○年間計画の立案をします。 ○福祉に役立つ夏野菜栽培を行います。	中間 考查
	5月	(2)プログラムの概要 (3)プログラムの計画 ○夏野菜の栽培	○老人適応プログラムについて学習します。 ○施設別にプログラムの計画を立案します。 ○福祉に役立つ夏野菜栽培を行います。	
	6月	2 施設について (1)施設における準備 ○夏野菜の栽培	○老人福祉施設の見学を行います。 ○福祉に役立つ夏野菜栽培を行います。	
	7月	3 セラピーガーデン (1)セラピーガーデンの概要 ○夏野菜の栽培	○セラピーガーデンの概要について学習します。 ○福祉に役立つ夏野菜の栽培を行います。	
2 学期	8月	(2)海外のセラピーガーデン	○海外におけるセラピーガーデンの社会的地位について学習します。	中間 考查
	9月	(3)海外の事情 ・イギリス ・アメリカ ○秋野菜の栽培	○セラピーの先進国の事例について学習する。 ○福祉に役立つための秋野菜栽培を行います。	
	10月	・日本 ○秋野菜の栽培	○日本のセラピーガーデンについて学習します。 ○福祉に役立つための秋野菜栽培を行います。	
	11月	4 資材と道具 (1)セラピー用器具の特徴 ○秋野菜の栽培	○園芸セラピーで使用する道具について学習します。 ○福祉に役立つ秋野菜栽培を行います。	
	12月	(2)障がいに応じた器具 5 園芸セラピーの展望 (1)園芸セラピーの問題点	○障がいの程度に応じた器具の使い分けについて学習します。 ○現在の園芸セラピーの課題を学習します。	
3 学期	1月	(2)1年間のまとめ	○1年間の学習内容の要点をレポートにまとめ発表します。	学年末 考查
	2月			
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	高齢者の健康と生活、福祉について関心を持ち、適切な自立生活支援ができる能力と実践的な態度を身に付けている。	高齢化の進展状況について理解し、社会福祉の現状と課題について考え、適切に判断し工夫できる創造的な能力を身に付けている。	高齢者の心身の変化に対応し、園芸を生かした生活支援を適切に行うことのできる能力を身に付けている。	高齢者の健康と生活、介護に関する知識と技術を身に付け、生活支援と福祉の充実の必要性を理解している。
評価の方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考查・小テスト」「課題やノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 園芸セラピーについて基本的な学習をしましょう。 2 実習中心となりますので、野菜栽培の実践的な技術を身に付けましょう。 3 安全に実習する態度を養いましょう。			